

第206回:前例が破られた

イギリスの諺に、One in the hand is worth two in the bush(=明日の百より今日の五十)と云うのがある。もともとは手中の一羽を指すようだが、ゴルフボールに譬えれば「ポケットのなかの一球は、ブッシュに飛び込んだ二球に相当する」と云ったところか。

海の向こうの大陸では、いま習近平国家主席が血相を変えて政治の浄化運動に取り組んでおり、難易度の極めて高い党政府高官の摘発は重要だが、腐敗汚職の温床となっている牽制の働かない一党独裁制度や許認可システムの改革は更に重要である。ポピュリズム対策として危険で難易度の高いスタンドプレーと、コツコツ進めれば難易度はさほど高くはないが、粘り強い努力の積み重ねが必要な改革とのバランス、これは習近平の実力を占う政治センスの問題である。

きょうは1月30日、日本では単なる年初の月末だが、陰暦の旧正月を大事にする中国、ベトナム、朝鮮にとって今日は一年で最も大切な大晦日である。欧米諸国間の戦争では、ときに「クリスマス休戦」が実施されるが、ベトナム戦争では「テト休戦」と云うのがあった。ベトナム語でテト(節)は春節を意味する。

今年の中国は、年末にどんな記事が掲載されるのだろうかと思いつつ、新華社、人民日報、中国軍網等のウェブサイトをやたらとめくっているのだが、思わず「せこいなあ」と声を上げた記事があった。29日の国営メディアは一斉に、「中央領導同志看望江沢民、胡錦濤等老同志」と云う見出しで、一面に小記事を載せた。こんな内容だ。「春節を迎えるに当たり、党と国家の指導者たちは手分けして、自ら、もしくは関係責任者を通じ江沢民、胡錦濤をはじめとする党中央、全人代、国務院、政協、軍事委員会を退いた【老同志】の許に時候の挨拶に参上した。これに対して老同志たちは感謝の意を表し、全国民が習近平同志を総書記とする党中央の下に結集し…(略)…中国の夢の実現に向けて奮闘するよう希望すると答えた」。

ここで新旧の最高指導者たちが交わした挨拶の中身はどうでもよい。注目すべきは恒例の年末行事として、毎年現役指導者たちが表敬訪問してきた大物OBたちのリストである。これまで国営メディアは江沢民、李鵬、万里、喬石…と表敬を受けたOBの名前を毎年公表しており、チャイナウォッチャー連はこれを見て「万里元全人代委員長、今年98歳のはずだが、未だ生きていたの」等、消息を知る大事な情報源であった。ところが今年は「江沢民、胡錦濤等」と、たった2人の実名で終わってしまった。因みに去年公表されたOBの人数は76名、現役を退いたむかしの政治局委員、首相副首相、議長副議長、主席副主席、主任副主任たちである。

これまで本コラムで執拗に採り上げてきた周永康・薄熙来事件。胡錦濤最後の仕事は薄熙来政治局委員の逮捕追放だった。そして胡錦濤の後を継いだ習近平の最初の仕事は、薄熙来の上司で盟友の周永康(前政治局常務委員)の身柄拘束であった。胡錦濤時代に最高指導部の一員として権勢を誇った公安畑の周永康はどうやら習近平の汚職追放ページによって失脚した模様だが、中国共産党には何か深い事情があるらしく、まだ逮捕や拘束の事実が公表されていない。その理由は不明だが、もしいま現在取調べ中で、最終結論が出ていないのであれば、たとえ最終処罰がミエミエでも presumption of innocence(中国にこんな

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

法理論があるとは思えないが)のため、彼をクロと公表するわけにはいかないのかもしれない。とは云え、いくら理論的には推定無罪の状況にあっても、習近平と李克強が周永康を表敬訪問したと嘘をつき、彼を「老同志」と呼ぶわけにもいかないだろう。しかしながらバカ正直に周永康の名前だけを表敬リストから外せば、彼の失脚は100%確定してしまう。

そんな訳で、「嘘はつけないが、正直に白状すると最高機密がバレてしまう」、進退きわまった党中央は、周永康の踏み絵を踏んだり、彼をリトマス試験紙に漬け込んだりするリスクを避け、機密を守るために前例を破り、「江沢民、胡錦濤、及びその他の先輩たち」といった曖昧な表現で新聞発表したようだ。今後は重要人物の逝去や追悼会においても、出席もしくは弔意を表した現役・OB リストを「習近平・江沢民・胡錦濤他」で簡略化してくる可能性がある。薄熙来事件でもそうだったが、共産党の官僚は優秀だが、仕事のスピードが遅すぎる。後藤田正晴氏が云ったように「会議好きにロクな奴はいない」。リスク回避と、起案作業を回避するため、会議と称して駄弁を弄してばかりしているから、いつまで経っても周永康の処分どころか方向性まで決まらないのである。

今朝の産経新聞にも載っているが、きのう中国の友人から「お年玉」として面白い画像が届いた。25日の北京紙「新京報」は、1面トップ記事で「習近平、中央国家安全委員会主席に就任」とのヘッドラインを付けているが、その真下に本記事とは全く関係ない、北京郊外の円明園で行われた氷祭りのリハーサルの写真を掲載した。清朝の皇帝の衣装を着た若者が宦官に案内されて登場し、エキストラの武将がひれ伏している。記事にする価値のないちっぽけなイベント写真をわざわざ持ってきたのは極めて不自然であり、「国家安全委主席に就任し、権力をますます集中させた皇帝気取りの習近平主席」という暗喩に違いない。最近中央のメディアに対する締め付けが強化されており、メディアの密かな復讐のようだ。

こんな素晴らしいお年玉をもらった以上、お返しをしないことには礼に欠ける。そこで返信したのが冒頭のジョークをひっくり返した **One in the bush is worth two in the hand** だ。これはジョイスの「ユリシーズ」第14挿話「太陽神の牛」のなかに登場する極めてお下劣なジョークである。日本語に訳すと職場の女性たちからセクハラで訴えられかねないので省略する。(もっとも書いたのは20世紀最高の大作家ジョイスで、これを紹介したのは文化勲章の丸谷才一先生だから、筆者だけが悪い訳ではないが)。上海の友人から早速返事が来て、友人知人にメールで多数転送したそう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年1月30日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%（税込み）（約定代金が260,869円以下の場合、3,150円（税込み））の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して最大0.8400%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込（一部の投資信託は換金）手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%（税込み）の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%（税込み）（約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円（税込み））の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。